

ユニコム 通信

Universal Community

ユニコムかつしか機関誌

Vol.9

<http://uc-k.net>



自主事業活動の拡大を目指して！

代表理事 大島 進

新年明けましておめでとうございます。
本年もよろしく願い申し上げます。

今年二〇〇八年は、NPO法人ユニコムかつしかにとって実質的に二年目の活動の年になります。

昨年は、活動方針として 既存パソコン講習会事業の見直しと充実、他団体との連携を含む新規事業への取り組み、組織運営体制の整備の3点を掲げ、会員の皆様の努力により11項目の施策の殆どを目標どおりに実現することができました。その成果は、たとえば地域SNS「かちねっと」の実現や、20年度区との協働事業「区民が作る葛飾百科」や「暮らしを彩るIT講習会」の採択となって結実しています。

今年是这样した新しい事業活動を計画通りに遂行していくと同時に、NPO経営の安定性の面から、事業活動に占める自主事業の割合を高めて行くことが必要になります。幸いなことに会員の間には、個々の特技や趣味や資格などのデータベース作り、力を発揮するための新たな拠点づくりの要望など、自主事業の拡大につながる機運が生まれてきています。こうした会員の熱意と積極性を活かし、今年は新たな活動拠点の確保と自主事業活動の拡大に力を注ぎます。

また、開かれた運営のための組織整備、各事業の広報活動の充実、諸団体とのネットワーク作りなどにも継続して取り組んでいきます。

新しい年、ユニコムかつしかではこれらの方針のもとに各種の活動を行ないたいと考えますので、会員ならびに関係各位のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

平成20年度区との協働事業

「暮らしを彩るICT講習会」

平成20年度の区と市民活動団体との協働事業提案が5月に募集され、ユニコムかつしかは二つの提案を行いました。その一つが自由発想事業の「暮らしを彩るICT講習会」です。7月の一次審査会通過、9月の二次審査会採択を経た後、区と予算面での詳細の詰め作業を終え、区議会での決定を待っている状況です。

この事業の提案趣旨は、区の協働事業として現在個別に行っている区民一般向け講習会、シニア向け講習会、障害者向け講習会を統合することと、ICT化の進展による情報格差の解消だけでなく、安心・安全な地域づくり、コミュニケーションの再生、子育て支援や高齢者福祉などにパソコンが十分活用されるべく、さらにIT知識、技術の向上に役立つよう、バラエティに富んだプログラムを提案することでした。

以下、現在行っているICT講習会とどこが変わるのかを中心に説明します。

【講習会の対象】

従来どおり、パソコンを学びたいと考えている30歳以上の区民を対象とするほか、障害者を対象とした講習会もこの協働事業の範疇として行います。

また、障害者に対するパソコン指導人材が不足していることから、指導者養成講座も実施する計画です。

【講習会の会場】

受講者の利便性を図るため、現在の2地区（葛飾図書館・お花茶屋図書館）に加え、新小岩（たつみ敬老館）でも講習会を開催します。これにより現在の最大定員20名が26名へと増加します。

また、障害者向け講習会は、そのための施設であり必要な機器やソフト類も整備されているウエルピアかつしかを使用します。

このほかICT学習センターのような常設施設も提案しましたが、現時点では専用公共施設の確保が困難なことから、今後の課題として取り組んでいきます。

【講習会の体系・内容】

これからパソコンに触れようとする方のために、体験教室を開催し、パソコンの楽しさ、便利さなどを実感してもらおうと同時に、学習ステップの案内なども行います。

コースやカリキュラムについては、入門・初心者レベルを想定して組み立てます。受講者の幅広い層やニーズに応えるために、現コースの見直しやエクセルやブログなどを追加するほか、バラエティに富むプログラムを提供する計画です。

障害者向け講習会についてもコース数を増やすとともに、中級コース（ワード・エクセル）を設けます。

【講習会の運営】

講習会運営全体を統括する事務局をユニコムかつしか内に設置し、コース計画・募集・アドバイザー（指

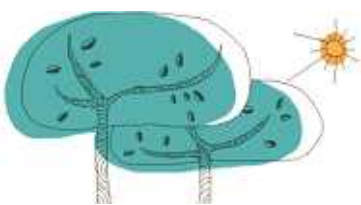
導講師）配置などのコーディネートを行うと共に、指導水準の確保するための研修会なども実施していきます。

なお、アドバイザーには、この協働事業の趣旨を理解し、パソコン指導ができる人であれば、個人・団体を問わず参加することができます。

この講習会は年間受講者数1700名を想定している大きな事業ですので、ユニコムかつしか会員はじめ参加諸団体や個人や区関係各課のご協力を得ながら、広く区民に親しまれる講習会を実現していきたいと思っております。よろしくお願いたします。

また、この講習会を通じて昨年オープンした協働事業の地域SNS「かちわつ」の発展にもつなげ、地域の情報化・ネットワーク化などにいつそう役立ってたいと思っております。

最後に、特に活動の中心となるユニコムかつしかの会員には、アドバイザー活動はもとより講習会運営業務へも積極的に参加していただくことを期待しています。



パソコン使ってますか？



前回の問題

会社で販売説明会を行います。顧客に案内メールを送らなきゃ！でも、一人ずつ送るのは大変！！できれば一度に送りたいのだけど。

- さあ、みなさんならどうしますか？
1. みんなにわかるように「CC」で送る
 2. お互いにわからないように「BCC」で送る
 3. 連絡網を使って、ひとりに送れば良い

正解と解説

正解は「2」です。

誰に送ったかわかる「CC」では、見ず知らずの人に多数のかたのメールアドレスがわかってしまいます。メールアドレスも立派な個人情報です。また、それを悪用された場合は、顧客の方々に多大な迷惑をおかけしてしまいます。

一斉メールを送る場合は、誰にメールを送ったかわからないように「BCC」を使うことが適当です。

正解者

正解者多数の中から抽選により次の2名の方にUS

Bメモリを差し上げます。

葛飾区堀切の矢野様 葛飾区亀有の小橋様

今回の問題

Q デジカメで、花や虫、近くの物などを撮影する時に使うモードは？

1. シロクロモード
2. マクロモード
3. ニュクロモード

会員以外の方も回答できます。

左記アドレスまでメールにてお送りください。正解者の中から抽選で2名様にUS Bメモリをプレゼントいたします。

×切り月31日 アドレス：pcc@uc-knet

パソコン豆知識 『マウスポインタの設定』

マウスポインタは標準では大変小さく見にくいものです。次の操作で自分に合った大きさ・色に変え、目に負担をかけないようにすることができます。

スタートメニューのコントロールパネルをクリック
「プリンタとその他のハードウェア」をクリック
「マウス」をクリック

「ポインタ」のタブ（見出し）をクリック
デザインを特大のフォントに変更すればマウスポインタは大きくなります

（又黒特大フォントにすればマウスの色が黒になります）



ふれあい

退職して何をやるのかな・・・ 私が家の中に入ったらだらだらと生活していくだろうし、そう考えていた時に、親友に「今フォークダンスの講習会があるので見学に行かない」と誘われたのがきっかけで始めたのが九年前でした。未だに？マークですが、楽しく踊っています。

学生時代フォークダンスといえマイム・マイムとかティコ・ティコしか知らなかったので簡単に考えていましたが、パソコンと同じで奥が深く、なかなか覚えられないでいます。

フォークダンスとは各国・各地に伝わる民族舞踊のことをいいます。単にフォークダンスというところクリエーションとして行う世界の民族舞踊のことですが、大きな範囲でいうと日本民謡（阿波踊りや花笠音頭）などもフォークダンスです。

去年は横浜で「スボレク祭」が行われ、全国のフォークダンスの仲間が集まり、年齢、性別、上手下手、経験は関係なく、手と手をつなぎ、楽しくダンスを踊りました。踊り終わった後の一体感は素晴らしい。いつのまにか知らない人たちと友達になっています。

パソコンも同じように、友達の輪がもつと広がっていければと思っています。



（鈴木かつ子）

「ウェルピアかつしか パソコン講座」

ウェルピアかつしかでは、身体障害者・知的障害者・視覚障害者を対象とするパソコン講座が、今年度よりPC葛飾からユニコムかつしかに引き継がれて実施されています。

身体障害者パソコン講座（一講座8回または6回）では、パソコン起動から文字入力、マウス操作、簡単なワード編集（書式設定等を主に）、インターネット、Eメール等の操作法や注意点などを学習しています。知的障害者パソコン講座（一講座8回または6回）では、作品の作成に重きを置き、達成感や自己能力の発見を感じられるように「楽しさ」を優先させた講座をおこなっています。

また、障害程度により進捗状況も毎回違いますので、あえてテキストは使用せずに、その時期や受講者側の特質にあわせた内容に都度変化させています。

視覚障害者パソコン講座（隔週8回講座）は、スクリーンリーダー（音声読み上げソフト）を使用したパソコン操作を基本に、音声ブラウザソフトや音声対応メールソフトを利用して、キーボード操作のみの操作法を学習しています。

障害程度や背景は十人十色ですので、その場その場で臨機応変に対応していかなければ、個々の特質にあ

った講座が進行されないのでは、ほぼマンツーマン形式（受講者1名にサポーター1名）をとっています。パソコンを生活に役立つ友好的な道具として活用していただき、積極的な社会参加や、コミュニケーションの拡大につながれば幸いです。

今後は、更に中級程度の講座やサポーターを育てるための養成講座等も実施していきたいと思っております。

障害者・健常者という壁を払拭し、すべての人々が同等に、且つ、補い合いながら笑顔で生活ができるような社会を作るきっかけにしていくことが一番の目標でもあります。

（竹馬正己）



【ユニコム、ユニコムかつしかへ！】

昨年12月、飯田充様が入会されました。飯田様の今後の活躍を期待します。

会員募集中！

ユニコムかつしかはパソコンを活用した幅広い地域コミュニティ作りを目指しています。パソコンを教えたい人、習いたい人が共に勉強しています。パソコンの指導者の養成や、個人レッスン、出張サポートも行っています。お気軽にご相談ください。会員になると、個人レッスンやトラブルの診断・解決が一般1時間3000円、会員2000円など、割引料金になります。

IT・パソコンのことならユニコムかつしかへ！

- | | |
|--------------|---------------------------|
| 講習会 | 指導者養成講座 |
| ・たつみ敬老館講習会 | ・シニア情報生活アドバイザー |
| ・ウェルピア講習会 | ・シニアPC指導ボランティア |
| ・白鳥福祉館講習会 | 出張サポート・出張レッスン |
| ・暮らしを彩るIT講習会 | 個人レッスン（於：事務所） |
| | ホームページ制作・パンフレット類作成など |
| | かつしか地域づくりネット（かちねっと）の構築・運営 |

編集後記

「猪」と「鼠」が握手。何のことか？

テレビで干支の交換式が放送されている。

また今年の漢字は「偽」と発表された。

我々ユニコムかつしかの最大の話題は、かちねっとだ。ついこの間オープニングセレモニーが行われたと思つ間に四百名を超える勢いに発展した。本当に月日の経つのが早いものだ。本誌が届く頃には新年の挨拶が交わされていることでしょう。新しい年もお体に気を付けてください。

（芳）